

# 玉川小羊幼稚園 2022年度環境教育 報告書

2023年3月

## 1. 環境教育の取り組み

野菜や花を育てたり、収穫したものを調理することなどを通じて、子どもたちが植物の生長と関わり、「自然っておもしろい!」、「楽しいな!」、「不思議だな!」と感じて欲しいと願って活動した。子どもたちの五感を使って、様々な変化に気づいて欲しく、教師はお膳立てしすぎず、見守ることを心がけた。そして、子どもたちと対話することを大事にして実践した。各クラスの取り組みは、以下の通りである。

年長クラス：アサガオ、サツマイモ（つるでリース作り）、赤シソ

年中クラス：オクラ（スタンプ作り）、ホウレンソウ、

年少クラス：ミニヒマワリ、ダイコン

## 2. 食育の取り組み

今年度行った食育の取り組みは、以下の通りである。

◎5月ウェルカムランチ（サンドイッチ・サラダの調理）

☆7月オクラの収穫・調理

☆9月赤しそジュース調理

◎☆11月感謝祭（さつま汁調理）

◎1月おもちつき

☆2月ホウレンソウ収穫・調理

☆3月ダイコン収穫・調理



（一覧の◎は行事、  
☆は収穫したものの調理）。

## 3. ネイチャーアトリエの取り組み

今年度から実施した、ネイチャーアトリエでは、季節に合った、季節を意識できるような活動を意識して行った。子どもたちにとって、「不思議だな」、「自然は楽しいな」と感じられるような活動、子どもとの関りを心がけた。

<主な活動> ・葉っぱビンゴ ・しゃぼんだま屋さん ・葉っぱを使った製作  
・梅干し作り ・花や球根の観察 ・松ぼっくりでトントン相撲  
・干し野菜作り ・コキアのほうき作り ・キャベツの種まき

## 4. 取り組みを通して

- ・畑で花や野菜を育てることへの興味や関心が育ち、自分より下の年齢の子へ教えることで自信となり、達成感を得ることができた。
- ・食育は自分の育てた作物を調理することによって、普段は苦手としている野菜を食べてみるようになった子が見られることや、子どもたちの食への興味関心が高まっている。
- ・新しく始めたネイチャーアトリエでは、自由遊びの中で行っている活動であることもあり、教師側が当初意図していた方向性と違うことも度々あったが、子どもたちの自主性を尊重して行った。その中で、発想の豊かさや喜んで活動する姿もあり、子どもたちとの対話や年齢の違う子ども同士の関りも豊かになっていった。